

ぼくと
ゴンさん



がっこうの かえりみち、
こねこが ひとりぼっちで
なっていた。

ぼくは そのこを
うちに つれてかえって
ゴンさんって なまえを
つけてあげた。

それから ずっと
ぼくと ゴンさんは
きょうだい みたいに
なかよく そだったんだ。





ゴンさんは
よくねて、
たくさんたべて...

ナデナデが
だいすきな
あまえっこで...



ぼくと まいにち
いっぱい あそんで...
げんきに すくすく
おおきくなってっただ。

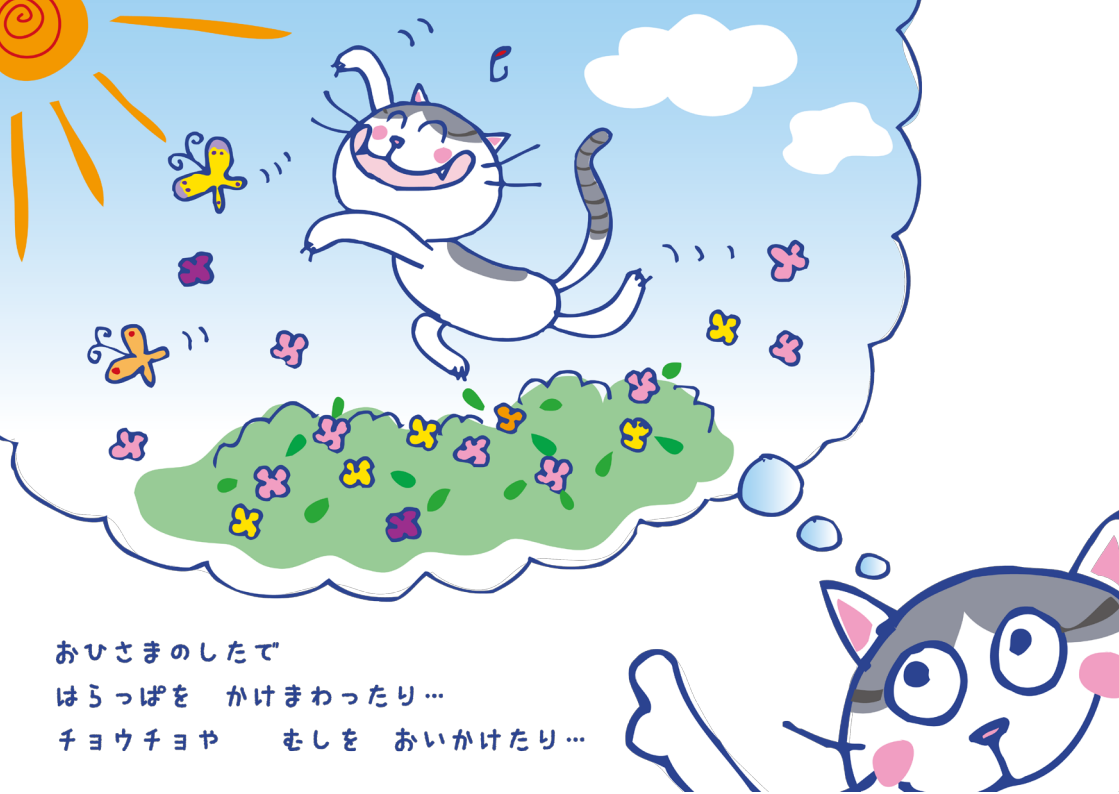
そんなあるひ、ゴンさんは
ふかぶかと あたまをさげて
ほくに こういったんだ。



「しゅうとくん、ながいあいだ
かわいかって いただいて
どうも ありがとうございます。

ホクは、しゅうとくんも
このおうちも みんなのことも
だいすきです。

でも、ネコとして
うまれたからには…



おひさまのしたで
はらっぱを かけまわったり…
チョウチョや むしを おいかけたり…

ためしよみ

は

ここまでです